

端末伝送器(TTE)

RD-12A

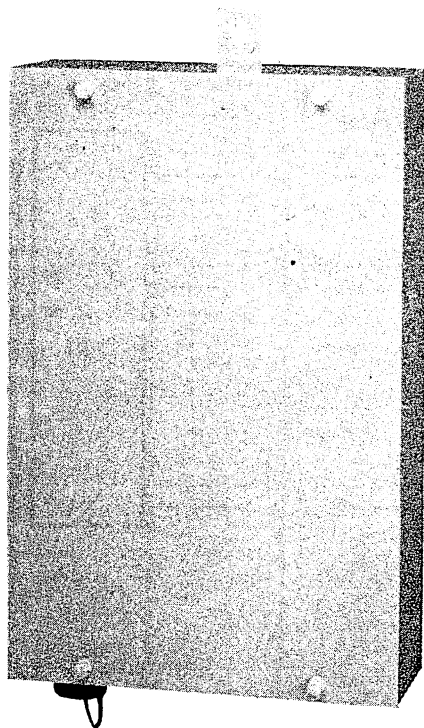
パルス積算, 接点の状態検出, 接点のON時間積算の計測……10入力 電源……AC110V

■概要

この装置は、発信装置付計量器（電力量計、水道メータなど）からの発信パルスの積算及び接点の状態検出、接点のON時間積算などを行う端末装置です。最大10点の計測ができ、計測データはシリアル信号に変換して出力します。

■特長

- 内部回路にはマイクロコンピュータを使用していますので高信頼性です。
- 最大10点まで計測ができ、センタ装置との接続は2対の伝送線で行うため配線が簡素化されます。
- 端末伝送器からセンタ装置までの伝送距離は最大1kmと長い伝送が可能です。
- パルスの積算計量のほか接点の状態検出、接点のON時間積算などの幅広い計測ができます。
- 無停電電源装置を内蔵していますので停電時のバックアップは万全です。



■仕様

項目	仕様	項目	仕様
計測項目	<ul style="list-style-type: none"> ・パルス積算 ・接点の状態検出(ステータス) ・接点のON時間積算 	絶縁耐圧	電源入力端子-ケース間:1500VAC 1分間 ただし、FG1とFG2間のショートバーははずします。
計測点数	最大10点 接点の状態検出はほかの計測項目との混在使用はできません。 パルス積算と接点のON時間積算は混在使用が可能です、総計10点です。	数値校正	端末伝送器チェッカ(オプション、形名RHF-10)で校正可能。
		伝送距離	<ul style="list-style-type: none"> ・パルス入力線(0.5mm²の場合) 無接点2線式パルス(オープンコレクタ) 100m 無電圧メーク接点2線式パルス 250m 無電圧トランスファ接点3線式パルス 250m ・伝送回線(φ0.9の場合)
入力信号	<ul style="list-style-type: none"> ・無接点2線式パルス(オープンコレクタ) ・無電圧メーク接点2線式パルス ・無電圧トランスファ接点3線式パルス 	伝送方式	<ul style="list-style-type: none"> ・起動方式 センタ装置からのポーリング方式 ・伝送方式 シリアル反転二連送方式 ・出力方式 オープンコレクタ方式 ・伝送速度 200ビット/秒又は1200ビット/秒(設定切換え)
入力信号定格	DC12V、10mA 40ms以上(オープンコレクタは40~400ms)		
最大入力パルス頻度	1パルス/3秒、又は5パルス/秒(設定切換え)	取付方法	屋内壁面取付け
桁数	10進6桁	動作温度範囲	-10~50°C
計量乗率	1/1固定	塗装色	日本塗料工業会 No.309(クリーム色)
電源	定格AC100/110V、50/60Hz	重量	約5kg
消費電力	3VA		
停電補償	8時間(周囲温度20°C、24時間充電にて) Ni-cd電池でフローティング充電をしています。 Ni-cd電池は4年ごとに交換してください。		

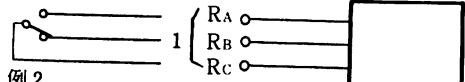
■構成

下記ブロックダイアグラムによる。

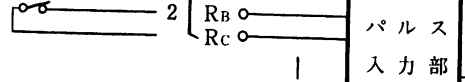
発信装置付計量器

(パルス入力端子)…入力端子は10入力共
3端子を使い分けて
3種類の入力に(例
1~3)対応できます。

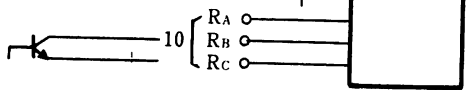
例1
トランスファ接点入力



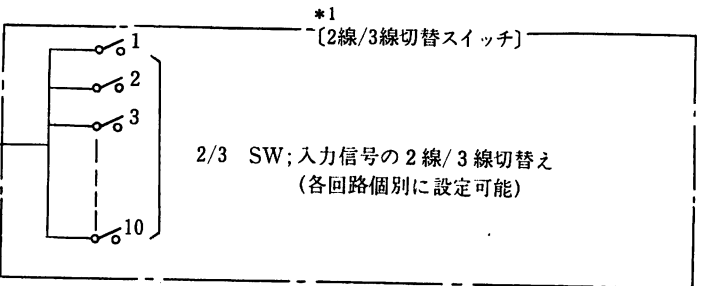
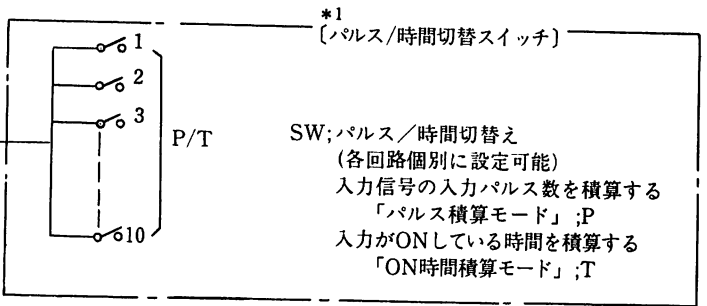
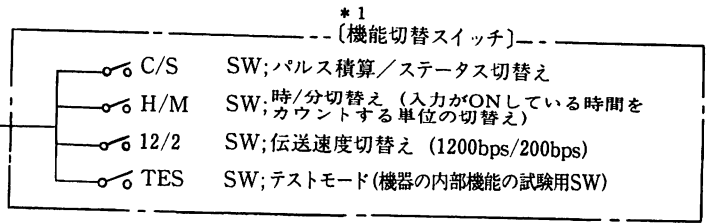
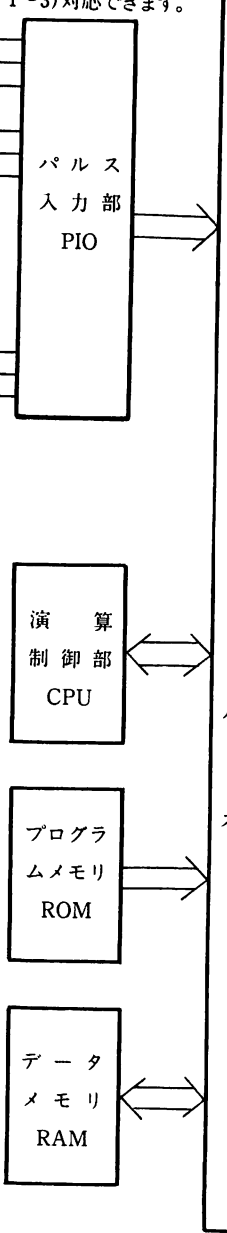
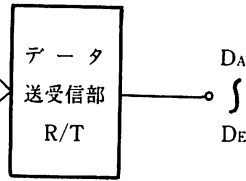
例2
メーク接点入力



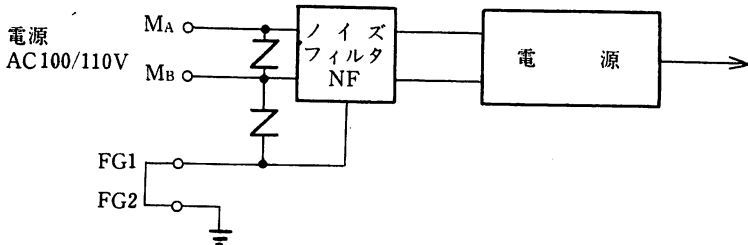
例3
オープンコレクタ入力



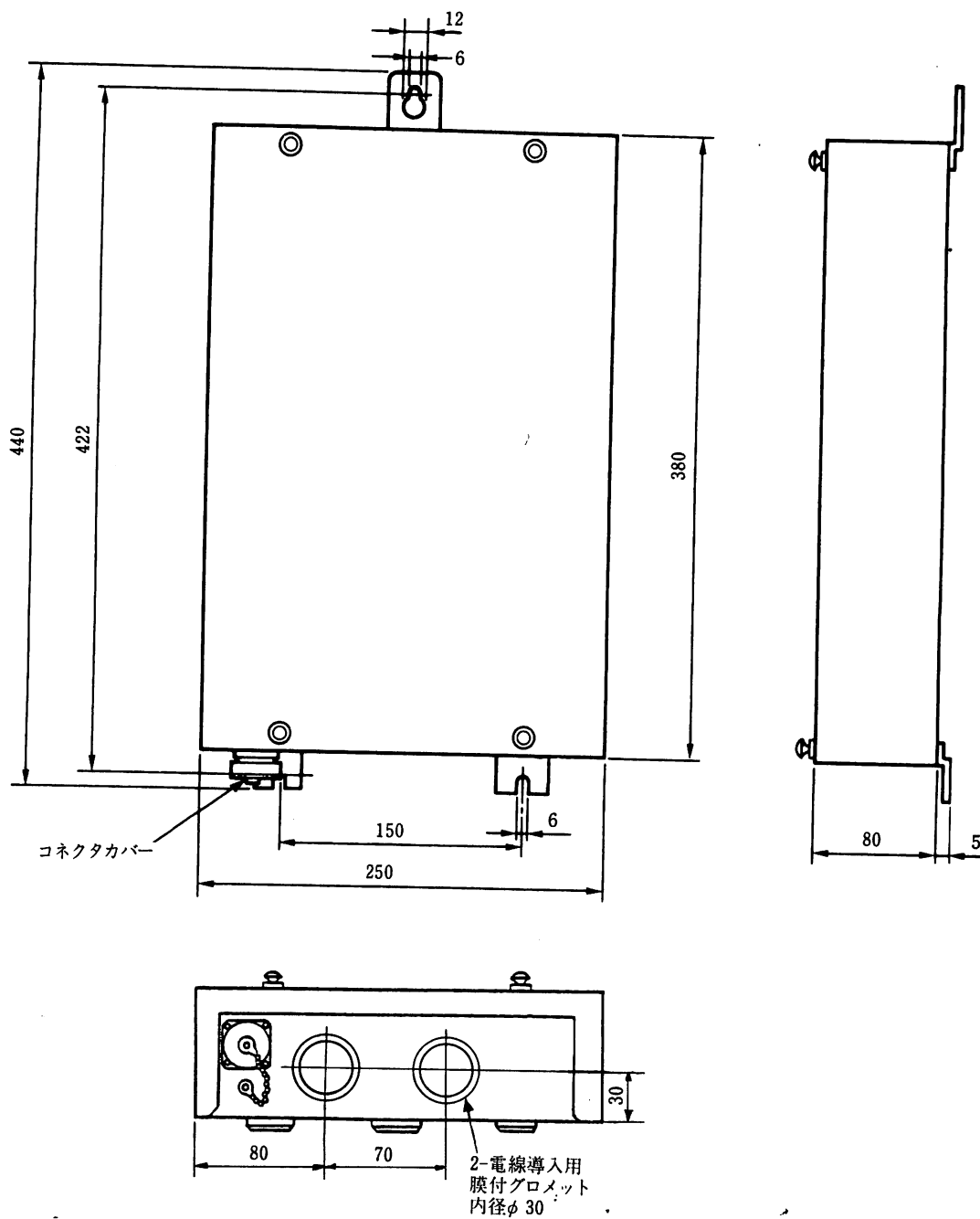
(回線接続端子)



*1 入力信号の種類に対応して切替えるSWです。詳細は、取扱説明書をご参照ください。



■外形寸法



- 注1) ケースの構造は屋内壁面取付構造
 2) 塗装色は日本塗装工業会No.309半ツヤ

記載内容は、設計変更その他の理由により、変更させていただくことがあります。

'85. 6.(TO)初 版
'92. 4.(TU)第4 版

端末伝送器(TTE)

RD-12D

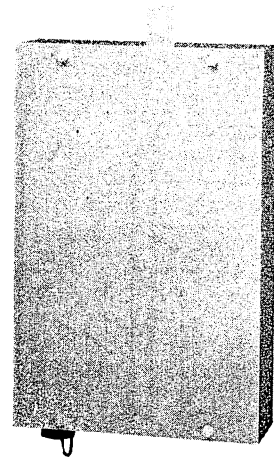
パルス積算, 接点の状態検出, 接点のON時間積算の計測……10入力 電源……24VDC

■概要

この装置は、発信装置付計量器（電力量計、水道メータなど）からの発信パルスの積算及び接点の状態検出、接点のON時間積算などを行う端末装置です。最大10点の計測ができ、計測データはシリアル信号に変換して出力します。

■特長

- 内部回路にはマイクロコンピュータを使用していますので高信頼性です。
- 最大10点まで計測ができ、センタ装置との接続は5対の伝送線で行うため配線が簡素化されます。
- 端末伝送器からセンタ装置までの伝送距離は最大1kmと長い伝送が可能です。
- パルスの積算計量のほか接点の状態検出、接点のON時間積算などの幅広い計測が可能です。
- 電源は5対の伝送線の1対を使用してセンタ装置から給電しますので端末側での電源が不要です。



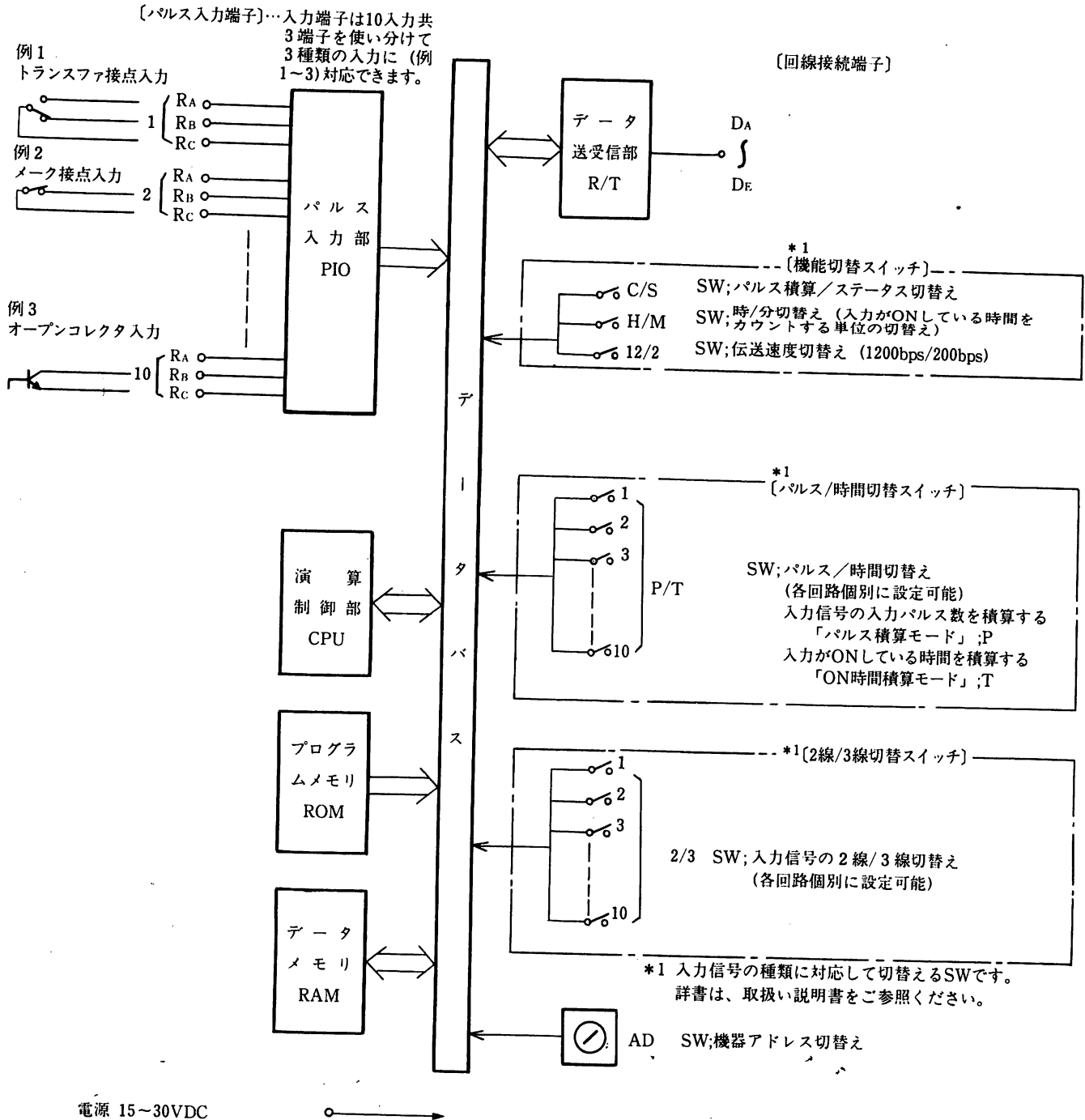
■仕様

項目	仕様	項目	仕様
計測項目	<ul style="list-style-type: none"> ・パルス積算 ・接点の状態検出(ステータス) ・接点のON時間積算 パルス積算、接点のON時間積算と接点の状態検出は切替スイッチでどちらかを選択して使用します。	絶縁耐圧	電源入力端子-ケース間: 1500VAC 1分間 ただし、FG1とFG2のショートバーははずします。
計測点数	最大10点 接点の状態検出は他の計測項目との混在使用ができません。 パルス積算と接点のON時間積算は混在使用が可能で総計10点です。	数値校正	端末伝送器チェック(形名RHF-10、オプション)で校正可能。
入力信号	<ul style="list-style-type: none"> ・無接点2線式パルス(オープンコレクタ) ・無電圧メーク接点2線式パルス ・無電圧トランスファ接点3線式パルス 	伝送距離	<ul style="list-style-type: none"> ・パルス入力線 (0.5mm²の場合) 無接点2線式パルス(オープンコレクタ) 100m 無電圧メータ接点2線式パルス 250m 無電圧トランスファ接点3線式パルス 250m ・伝送回線 (φ0.9の場合) 1km
入力信号定格	12VDC、10mA 40ms以上(オープンコレクタは40~400ms)	伝送方式	<ul style="list-style-type: none"> ・起動方式 センタ装置からのポーリング方式 ・伝送方式 シリアル反転二連送方式 ・出力方式 オープンコレクタ方式 ・伝送速度 200ビット/秒又は1200ビット/秒、(設定切替え)
最大入力パルス頻度	1パルス/3秒	取付方法	屋内壁面取付け
桁数	10進6桁	動作温度範囲	-10℃~50℃
計量乗率	1/1固定	塗装色	日本塗料工業会 No.309 (クリーム色)
電源	15~30VDC (センタ装置の無停電電源から給電)	重量	約5kg
消費電流	10mA		

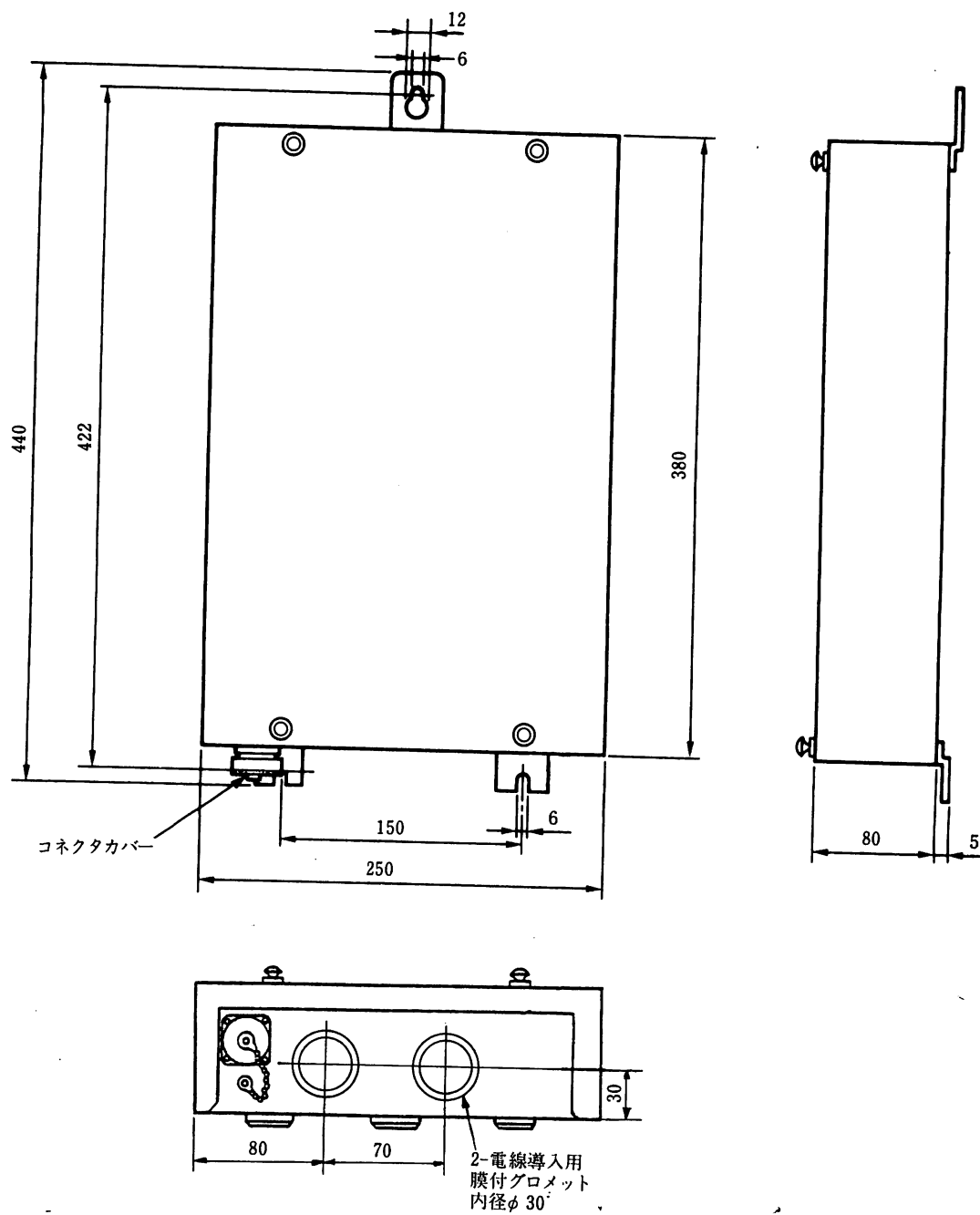
■ 構成

下記ブロックダイアグラムによる。

発信装置付計量器



■外形寸法



- 注1) ケースの構造は屋内壁面取付構造
 2) 塗装色は日本塗装工業会No.309半ツヤ

記載内容は、設計変更その他の理由により、変更させていただくことがあります。

'92. 4.(TU)